

## 東京外語会秋田ツアー 美しい日本、秋田の旅

平田誠之 (IM昭30)



秋田国際教養大学ゲストハウス・プラザクリプトン前で

平成17年10月21日から23日にかけて総勢16名が東京外語会主催秋田ツアーに参加しました。私は海外60数カ国を歴訪しましたが、秋田を訪れるのは初めてで、日本の美しさを再認識したツアーでした。

### 秋田国際教養大学訪問

21日、ANA873便は10時10分定刻通りに秋田空港に到着し、秋田国際教養大学(AIU)の山崎先生の出迎えを受けた。大学の皆様には色々とお世話になりました。

AIUは外語の前学長の中嶋嶺雄先生が学長・理事長をなさっているまことに若い大学であり、全寮制の宿舎がある。図書館は24時間開放され、そこで勉強も出来る。誠に良い環境に恵まれている。日本の高校の大学評価ではこの大学のランキングは上位にきているようで、他国の多くの大学との交換留学生の協定をも結んでおり、外人教授の数も多い。

この大学の特徴は、全科目を英語で教えていることにある。中国語を教えるのも英語であり、卒業までに一年間は外国の交流相手校に留学する事になっている。教養大学という事で美術、音楽なども教えている。勉学だけでなくクラブ活動も盛んな様子だ。全国各地、県外からの学生も多いと言う。昼食は学食で550円のチケットを買い、中嶋学長と共に腹いっぱい食べた。

その後、幾つかの授業の現場を訪問し、英語

でやり取りする授業を参観した。特に目を引いたのは図書館の Computer Literacy という設備だった。所定のスピードでディスクが廻り、英文が語られる。そのスピードで何度聞いても理解できない人は、自分の力に合わせてスピードを落として練習する事によって、耳を慣らし、英語力を上げていく自習のための装置であった。

AIUは秋田杉と桜の並木道に囲まれた中にあり、周囲の環境はすばらしい。我々の泊まった同学ゲストハウスのプラザクリプトンは森の中を十分足らず歩いた場所にある。東京に居たらとても味わえないおいしい空気の中を中嶋学長と共に散歩した。その間、良い環境に恵まれ国際化に向かって一生懸命に勉強している学生たちの姿に出会った。

夕食は学長のご招待で、プラザクリプトンで秋田の名物の「きりたんぼ」や「稲庭うどん」などをご馳走になった。ビールは「ぶなの森の地ビール」、お酒は秋田自慢の二つの銘柄が選ばれ、勝又美智雄先生 (E昭47) からそれぞれの銘柄の説明を受けた。本当に美味しい、又楽しい夕べであった。

### 武家屋敷見学

翌22日は朝7時頃起床した。曇ってはいたが心配された雨は降っていない。9時にバスが迎えに来て、今日は学長自身が案内してくれるという。バスは一路、角館に向かって走り出した。

巾の広い道路が真っ直ぐに伸び、桜の木が並んでいる。角館の武家屋敷町に入り、そこで石黒家、青柳家を訪問し見学した。石黒家では雪に対する暮らしの工夫に感心し、青柳家の庭では2メートルほど丈があって木と見まごう秋田路に驚いた。

「桜が見られないのが残念だ」と誰かが言ったら、「1月や2月や又4月には見れますよ。冬の桜は木の上にさらさら雪が積り、4月の桜より綺麗かもしれませんから又いらっしやい」と言われた。

### 「たつこ像」と田沢湖高原の紅葉

武家屋敷をあとにして我々は田沢湖に向かって走った。

有名な「たつこ像」を見なくちゃ。「たつこ像」の近くから正面に男女岳のある秋田駒ヶ岳と乳頭山が見える。駒ヶ岳を正面に見ながら左側から時計回りでバスは湖畔の道を登って行く。黒森展望台を過ぎてさらに登って行くと、右手にぶなの林が続く中で、黄色が次第に紅色に変わってゆく。田沢湖温泉高原に近づくにつれ、木々の間から駒ヶ岳の頂上が見え隠れする。白樺の木も見えてくる。そのうちに紅葉も真っ盛りになっていく。

車の中の声もだんだん大きくなる。「イイワネー。綺麗だわ。ワーすごい。」特に女性の声が高くなる。「窓を開けて欲しいわ！」

嘆声から歓声が続く。我々は最高に良い今年の紅葉を見ることが出来たのだ。感激。

### 温泉と秋田支部主催交歓会

乳頭温泉郷の一番奥にある秘湯「鶴の湯」に浸かる。中嶋学長の「次は東京外国語大学の田沢湖温泉ロッジに行きましょう。温泉は何時でも湧いていますよ」との声で、「鶴の湯」のあと、TUFST田沢湖温泉ロッジの温泉にも身を沈ませた。

さあ、これから秋田駅近くのメトロポリタンホテルで、外語会秋田支部主催の交歓会だ、遅れてはなるまい。

今日は二度も温泉に入り、お腹も空いていたので、食事や酒もワインも充分に楽しむことが出来た。秋田支部のご配慮で、南友会の後輩で秋田大学助教授の三宅良美さん（IM昭56）と

同じテーブルにつけていただき、話がはずんだ。

### 男鹿半島と「なまはげ」

ついに最後の日だ。今日は男鹿半島を廻る。ホテルを9時に出発し、約1時間で寒風山に到着、展望台に登って周りを見回した。

一方に大きく広がる水田の平野、反対側には日本でも重要な石油備蓄基地、その間に八郎湯の埋め残された水面。絶景である。男鹿半島の全貌を見た様に思えた。

勝又先生がバスの中で秋田の解説をしてくださった。おかげで秋田の事情が良く分った。

さて秋田といえば「なまはげ」だ。真山神社の近くの男鹿真山伝承館を見学し、「なまはげ」の実演を見た。「なまはげ」と、それを迎える主人側の秋田弁による掛け合いは、言葉が良く分からないながら、その面白さには魅せられた。

### 入道崎からGAOへ

さて次は？我々は男鹿の角の先、入道崎に向かって走っていた。丁度北緯四十度線が通る所である。加子隆一郎さん（E昭34）と私は灯台の上まで登る。一番の楽しみはその後の昼食だった。海老、サザエ、刺身、昆布、ご飯、味噌汁など出てきた何を食べても最高に美味しい。

帰りは西海岸のごつごつした岩が海中に突き出している岩場の道をひたすら南に下る。軍艦岩、ゴジラ岩、白糸の滝、御前が身投げをした伝説の岩などがある。やがて男鹿水族館ガオ(GAO)に到着する。アクリル樹脂49センチの壁の中で多くの魚が自由に遊泳している。人気ナンバーワンの白熊の子供、豪太君の可愛いお遊びにも見とれた。

空港に到着すると、出発までまだ時間があり、名古屋に帰る大原侠さん（M昭36）の便はさらに2時間遅いので、二人で一杯飲む事にした。出発ぎりぎりまで刺身と酒を楽しんだあと、大原さんと別れた。

今回のツアーは東京のほか仙台、名古屋、大阪の同窓も集まり、中嶋学長、幸野秋田支部長をはじめ多くの皆様にお世話になりました。お陰で、秋田の良さを十二分に満喫できた楽しいツアーになりました。ありがとうございました。